

Wish

世界の子どものために

vol.57

2019年1月号



世界のことに目を向けてたくさんの気づきを得た5日間。トライやるの成果です。

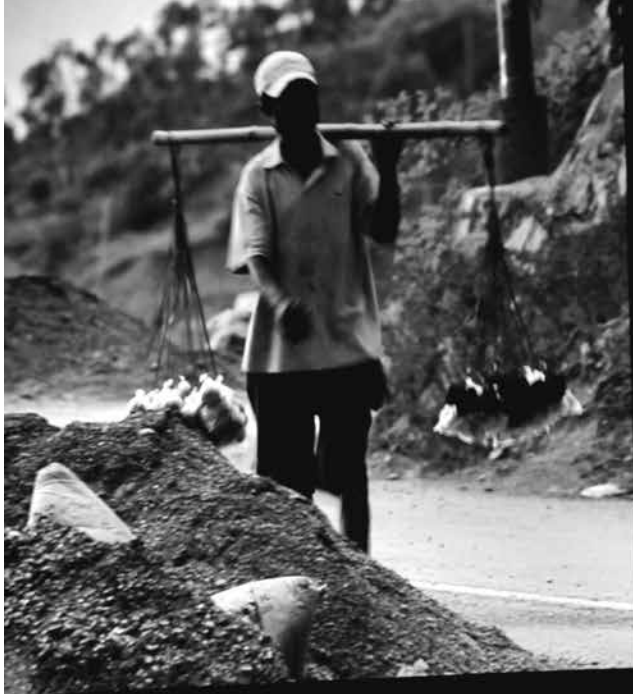
CONTENTS

2-3 **EVENT FOCUS**
2018 国際理解講座④ 地球のステージ特別篇

4-5 **トライやるウィーク** トライやるで楽しく学ぶ

6-7 **活動ファイル**
2018年9月～12月

8 **お知らせ**



EVENT FOCUS

2018 国際理解講座④

地球の ステージ 特別篇

伝えたい いのちの輝き

4年ぶりとなる兵庫県ユニセフ
協会主催の「地球のステージ」。

今回は桑山紀彦さんの公演と

早川千晶さんが加わっての

トークセッションの2部構成で

行われました。

Event Data イベントデータ

日時 2018年10月6日(土)

会場 コープこうべ生活文化センター(神戸市東灘区)

参加者 140人

*この講座は公益信託兵庫県婦人会館ユネスコ基金の
助成を受けて行いました。

第1部

地球のステージ

「前の自分と比べて今が良くなっていれば、自分の役割を見つけることで居場所を得られれば、人はどこでも生きていける。」桑山さんからのメッセージが美しい映像と音楽にのせて語られました。

飛騨高山で育った桑山さんは20歳の時に初めて海外に行き、五大陸の最高峰を全て見るといふ夢を持って世界を旅しました。夢がかなった後も続けていた旅で訪れたフィリピンで出会った人から、涙ながらに「ありがとう」と言われたことをきっかけに、世界中の

人にこれまでの恩返しをしたいと思うようになり、新しい旅が始まりました。

フィリピンのごみの山で、役割を持ち想像力を使いながらたくましく生きている子どもたちの美しい笑顔は、思いやりを持って我慢する力から生まれたものでした。南スーダンからの難民を数多く受け入れているウガンダには、

苦しい過去に向き合いながらもあきらめずに夢を見つけて、その実現のために学ぶ若者たちがいました。民主主義の国への途上にあるミャンマーにも、夢を持ち学び続ける若者がいて、親子の会話の中で育まれた心の中にはしっかりとした芯がありました。東

ティモールには、貧しい人々のための診療所で20年間働いているアメリカ人医師がいます。無料診療終了という国の方針が出て、これまでの彼の役割も終わろうとしています。この先、彼はこれほどのように受け入れて行くのでしょうか。

桑山さんが作った、東日本大震災の被災地を舞台にした映画に出演した少女は今、中学3年生になってこう言っています。「辛くても向き合って伝えていきます。新しく気づかされたこともたくさんあって、この震災の事も悪い事ばかりじゃないかも、と思えています」

第2部

トークセッション

トークセッションは主に桑山さんが早川さんに問いかける形で進められました。世界中を旅してきた二人の経験から生まれた“生きることへの思い”に溢れた対談の一部をお伝えします。

活動の原動力

桑山さん(以下、桑) 今の活動のきっかけは何ですか？

早川さん(以下、早) 18歳で始めた自分探しの放浪の旅です。世界中でゆるぎない信念を持っている人に会って、何を大切にしているかを直接聞きたい。そう思って旅を続けるうちに、納得いくまで追求したくなり、アフリカに定住することにしました。悲しみや苦しみを乗り越えた先に何かがあるのか、向こうでなければわからないと思ったのです。

桑 そういう若者だった早川さんが今の日本の中・高校生に望むことは何ですか。

早 高校生の頃、疑問に思ってた事は人生で一番大事。逃げ

ずにしっかり向き合い、もがいたことがその先の人生につながっていきます。だから一緒に向き合っていていこうよ、と言いたいです。

桑 今日、ここに集まった人は皆世界に対する何らかの疑問を持っていることでしょうか。

早 早川さんの活動の原動力は何ですか。自分の許容範囲を超えてしまうことはないですか。

早 アフリカは面白いです。想像を超える暮らしがあり、むき出しの命の迫力があります。マゴンスクールはみんなのことが好きだからやっています。みんなと一緒に苦しいことも乗り越えていくのが楽しい。人間が持っているいざという時の底力と、励ましてくれる仲間たちがあるから頑張れます。

これからに望むこと

桑 これからの10年でやっていきたいことは何ですか。

早 次の世代と心のつながりを持ちながら、今の活動を引き継いでいきたいです。また、アフリカ中の国とつながるもっと面白いこと、例えば日常の中にいつも

ある音楽を通して、アフリカの心、風を伝えたい。アフリカの音

楽は「この世界に生きているみんなが幸せになるように」という祈りなのです。

桑 これからの日本への期待やアイデアはありますか。

早 みんなで命を輝かせることのできる国をつくろう。いろんな世代の人が違う意見を認め合

い、面と向かって語り合える場が必要。ケニアには今もあるコミュニティの良さを日本に復活させよう。

桑 ところでケニアでもスマートフォンは使っていますか。

早 ケニアの人たちはスマホを故郷の家族への送金などのためによく使っています。でも人間関係が壊れるような使い方は決してしていません。

桑 生活や発信のためのツールであって、会って言わないといけないことを伝えるのに使うものではないですね。さて、やがて来る、この世を去る最期の時をどんな風に迎えたいと思っていますか。

早 若い人が育ってきているのは頼もしいし、生きることが素晴らしいと実感しています。大きな命の流れの中に今の自分はい

ると思えると次の世代に託していきます。

生きるということ

桑 早川さんの人生における役割は何ですか。

早 真剣に精一杯生きて、目の前で苦しんでいる人がいれば寄り添って行動することです。

桑 何のために生きるのかという、ある高校生からの疑問に答えるとするれば？

早 人類として普遍的なより良い道を見つけていくためです。目の前に丁寧に向き合い、先人の思いを受け

継いで手渡ししていくのです。

「早川さんは自分に対してうそのつけない人、答えを求めていく人ですね。人生の意味は沸き起った疑問について考え、意識化し、気づいていくこと。真面目な会話を真面目にできる人々が集まる素晴らしい場をこの関西からつくっていきましょ」と桑山さんは締めくくりました。



早川 千晶さん

1966年福岡県生まれ。困難な状況を抱える子どもや大人の集うマゴンスクールをケニア・ナイロビのキベラスラムで、ジュンパ・ラ・ワト(子どもの家)をミリティーニ村で運営。ケニアに定住して30年。トーク&ライブ、スタディツアーの企画や執筆活動などを通してアフリカの魅力を伝えている。



桑山 紀彦さん

1963年岐阜県生まれ。心療内科医、精神科医。NPO法人「地球のステージ」代表理事。海老名こころのクリニック院長。1996年より世界の紛争地や被災地で医療支援活動や心理社会的ケアを行い、それらの体験を自ら製作した映像と音楽でつづる公演を全国で開催している。

トライやる ウィーク



トライやるは、地域での体験活動などを通じて「生きる力」を育むことを目的として1998年度から兵庫県で実施されています。

トライやるの生徒の受け入れが決まると、兵庫県ユニセフ協会では、どのようなテーマを誰が担当するかを決め、ユニセフの学習、ワークショップや募金活動など一週間を通しての予定を立てます。

今年は約20人のボランティアが各々が担当するテーマの内容を考え準備しました。

生徒たちは、トライやるを控え事前の挨拶にやってきた時には緊張した面持ちでしたが、いざ始まってみると、すぐに打ち解け、楽しい学びと体験のトライやるウィークになりました。

ここでの学びと体験が生徒たちの成長の過程で少しでも役立って欲しいと願っています。

トライやるで 楽しく学ぶ

兵庫県ユニセフ協会は毎年11月に
トライやるの生徒を受け入れています。

今年は4校から8人の中学生が

「ユニセフの活動を知りたい

世界の現状を知りたい

自分に何ができるかを考えたい」

とやってきました。

期 間 2018年11月5日(月)～9日(金)

参加校 神戸市立歌敷山中学校 神戸市立西代中学校
神戸市立御影中学校 神戸市立本山中学校

スケジュール

	午前	午後
11/5	オリエンテーション 館内案内 ユニセフの基礎	立体教材の話 ワークショップ(貧困の悪循環を断ち切ろう)
11/6	掃除 事務局運営の話 DVDと本の整理	白地図の作成 ワークショップ (世界はつながってるよ)
11/7	掃除 ブルキナファソ報告 ワークショップ (SDGsで遊ぼう)	ハンド・イン・ハンドの話 とポスターの作成
11/8	掃除 外国コインの話と 仕分け	子どもの権利条約の話 ワークショップ(ユニセフの活動と子どもの権利条約・SDGsとの関係)
11/9	掃除 募金活動の準備 街頭募金活動	募金活動の片づけ 募金の入金 5日間の振り返り



みんなで募金活動に
行きました

トライやる を終えて



はやと
池田 悠人さん
西代中学校

1 週間ありがとうございました。このトライやるウィークで僕は、いろんな中学校の人と仲良くなることができました。いろんな仕事をする事ができてとても楽しかったし、改めて社会のルールというものを学ぶことができました。ありがとうございました。

じゅんき
小川 淳輝さん
本山中学校

みんなの前で発表する機会をたくさん与えて頂き、積極的に話すことが以前よりも出来るようになりました。また、他校の人と関わり合えて僕自身成長できたと思っていますので、とてもいい活動だったなと思います。

はな
佐藤 華夏さん
本山中学校

トライやるウィークで最も印象に残ったことは、ブルキナファソの貧困の子どもたちのことです。今までは、世界には、貧困の人々がいるということを知っていたけれど今回の学習でより詳しく知ることができたので良かったです。

しずくし
栗石 隆之介さん
御影中学校

僕は、このトライやるウィークで、ユニセフについて多くのことを学ぶことができました。この貴重な経験を、これからの中学校で、生かしているように努力したいです。

はな
柴田 葉奈さん
御影中学校

今回一番印象に残っていることは、ユニセフは教育もしている、ということです。なぜきれいな水を飲まなければいけないか、などソフト面での支援も大切な役割だと知り、とても驚きました。ユニセフに来て本当に良かったです。

こうき
鈴木 宏紀さん
西代中学校

僕はトライやるウィークを通して気づいたことは自分たちの生まれた環境がとても良かったという事です。だから環境問題や募金活動などに気をかけ、貧しい国の子どもたちに貢献していけるようにしたいです。

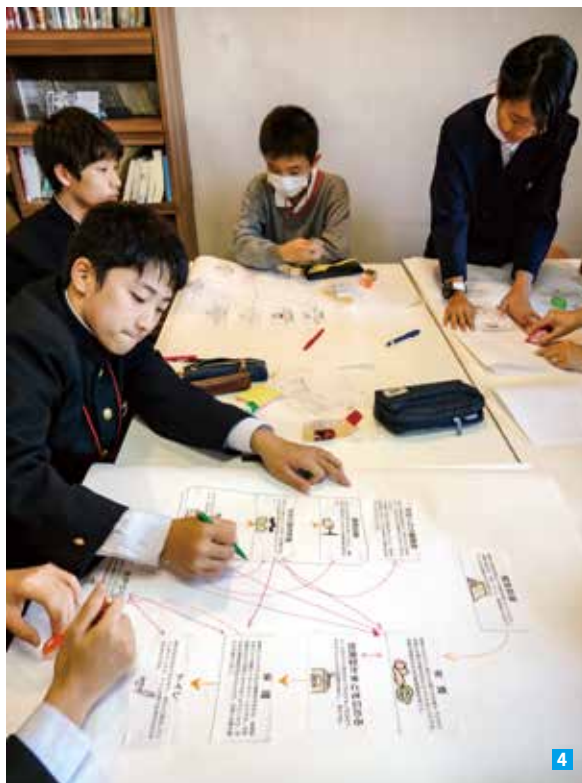
とびつか おうら
飛塚 旺良さん
歌敷山中学校

僕はこのトライやるで色々な国の事を知ることができ、また自分の生活にありがたみをよく感じられました。最終日の募金活動を通し本当に平和、安全が大切だとわかりました。この大切な経験を生かしていけるようになります。

ゆい
平野 由彩さん
歌敷山中学校

私はこのトライやるで、世界のことを目を向けるという目標をあげて頑張ることが出来ました。この5日間で印象に残ったことは募金です。たくさんの優しさが集まって出来ていることが分かったのでユニセフで勉強できてよかったです。

- 1 「この写真の子どもは何をしているのでしょうか？」子どもの権利条約について考えました。
- 2 立体教材の説明で、支援物資の蚊帳(かや)を手にとってみました。
- 3 ブルキナファソへのスタディツアーに参加したボランティアの話の話を聞きました。
- 4 「貧困ってなんだろう？」貧困の悪循環について考えました。
- 5 街頭募金活動で使うポスターを協力して作りました。
- 6 ユニセフ学習に役立つ白地図を作り、世界のつながりを考えました。
- 7 事務所の蔵書に番号を付けました。これで貸し出しが楽になりました。
- 8 事務所近くの JR 住吉駅で行き交う人に募金を呼びかけました。
- 9 「これはどこの国のコイン？」事務所に募金として届けられた外貨の仕分けをしました。



1 ひょうごまるごと健康チャレンジ 2018 「カラダはじめ・はかるの チャレンジ DAY」に参加

日時 9月22日(土)
会場 コープこうべ協同学苑(三木市)



兵庫県生協連の健康チャレンジキックオフイベントに参加。魚つりゲームでユニセフの仕事をわかりやすく説明したり、正しい手洗いを広めるための手洗いダンスを会場の皆さんと一緒に踊りました。また、広い敷地内を巡るウォークラリーもしました。参加した人たちは、4つのチェックポイントでクイズを解きながら初秋の一日を満喫しました。

2 2018 ユニセフカップ にしのみや甲子園ハーフマラソン

日時 11月11日(日)
場所 阪神甲子園球場前～武庫川特設コース

晴れ渡った秋空の下、今年も「アフリカの子どもの命と健康を守ろう!」をテーマに、ユニセフのチャリティーマラソンが行われ、参加料の一部を寄付していただきました。今年で31回目を迎える市民マラソン。小学生駅伝もあり、にぎやかな大会でした。ありがとうございました。



行われ、参加料の一部を寄付していただきました。今年で31回目を迎える市民マラソン。小学生駅伝もあり、にぎやかな大会でした。ありがとうございました。

3 第40回ユニセフ ハンド・イン・ハンド街頭募金活動

日時/場所 11月9日(金)/住吉
12月11日(火)/ コープ魚住
12月23日(日)/ 姫路・元町・三宮・住吉・西宮北口

11月～12月はユニセフハンド・イン・ハンド募金月間です。今年のテーマは「すべての子どもに5歳の誕生日を」。5歳の誕生日を迎えることなく命を落とす子どもが年間540万人います。その多くはきれいな水や予防接種などで救える命なのです。

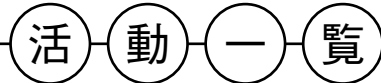
幼い命を守るために、街頭や店頭で支援を呼びかけたたくさんの方にご協力いただきました。皆さまありがとうございました。



Activities File 活動ファイル



兵庫県ユニセフ協会の活動履歴
2018年9月～12月



Activities List

学習会訪問一覧

月日	訪問先	対象	人数
9月28日	コープこうべ第6地区本部	大人	22
10月3日	あしやキッズスクウェア(宮川小学校)	小学生	17
10月9日	市川町立川辺小学校	6年生	24
10月13日	ガールスカウト兵庫第17団	小学2～6年生	12
10月30日	西宮市立鳴尾北小学校	6年生	200
11月5日	姫路市立城北小学校	6年生	46
12月6日	東北学院高等学校	2年生	14
12月19日	福崎町立高岡小学校	5年生	12

地域活動一覧

*ブース出展

月日	イベント名	
9月22日	ひょうごまるごと健康チャレンジ2018 キックオフイベント(三木市)	
9月29日	七夕セミナー(岡山市)	
9月30日	川崎塾③(台風24号のため中止)	
10月6日	国際理解講座④	
10月19日	コープこうべ三木緑が丘組合員まつり	*
10月20日	但馬北コープ委員会組合員まつり	*
10月27日	姫路市医師会看護専門学校文化祭	*
10月27日	コープこうべ姫路田寺組合員まつり	*
10月27日	川崎塾④	
11月9日	ハンド・イン・ハンド街頭募金活動(住吉)	
11月10日	にしのみやふるさとウォーク	*
11月11日	2018ユニセフカップにしのみや甲子園ハーフマラソン	*
11月17日	川崎塾⑤	
12月5～7日	大津司郎鉛筆画展 アフリカ目撃一旅・冒険・紛争取材	
12月5日	三木緑が丘コープ委員会平和のひろば	*
12月8日	国際理解講座⑤	
12月11日	ハンド・イン・ハンド街頭募金活動(コープ魚住)	
12月15日	川崎塾⑥	
12月23日	ハンド・イン・ハンド街頭募金活動(姫路、元町、三宮、住吉、西宮北口)	

※トライやる受入

11月5日～9日 神戸市立歌敷山中学校
神戸市立御影中学校
神戸市立本山中学校
11月5日～6日、7日～9日 神戸市立西代中学校

募金していただいた学校・団体 (2018年7月～10月)

兵庫県ユニセフ協会を通して募金いただいた学校・団体のお名前を記載しています。(敬称略、順不同)

兵庫県立尼崎小田高等学校ESS部、兵庫県立兵庫高等学校文化祭実行委員会、育英高等学校
外貨募金:姫路城を守る会

ご協力ありがとうございました。

4 2018 国際理解講座⑤ アフリカに教えてもらったこと

講師 大津司郎さん（ジャーナリスト）
甲斐信好さん（拓殖大学国際学部教授）
日時 12月8日（土）
会場 コープこうべ健保会館（神戸市東灘区）
参加者 53人

大津さん、甲斐さんを迎えての講座は今回で7回目。若い人の参加も多く和やかな雰囲気の中で行われました。

甲斐さんは国際政治学の観点からゼミ学生を中心としたアフリカスタディツアーを行っています。コーディネーターは大津さんです。ルワンダと言えば大虐殺で有名ですが、アフリカで一番経済発展をしている国。中国からの資材100%で建てられたルワンダ外務省などのビルが並び、アメリカの援助による世界唯一のドローン専用の空港もあります。しかし水道の普及率は2割程。学生たちは、水汲みのために学校にも行けない少女や社会復帰の訓練のためにリハビリ施設で学ぶ元少年兵に面会し、国際社会の現状や生き



ることの大変さを学びました。甲斐さんは「他の人に力を使って、人は初めて誇りを手にする」と言葉を添えられました。

大津さんはジャーナリストとして、マスコミからは知る事ができない、国際協力だけでは見えてこない深層を伝えています。アフリカには、民族対立、牧畜民と農耕民、イスラム教徒とキリスト教徒、貧富の差などの Fault-Line（対立軸）があります。近年の気候変動による砂漠化により、サハラに暮らす牧畜民が南下を始め、資源が豊富な場所で衝突が生じています。そこへ先進国が介入し問題はますます複雑化しています。大津さんは「これが世界情勢のスタンダード。世界の現実に目を向けることが大切」と話されました。

講座に併せて開催



大津司郎鉛筆画展

アフリカ目撃一旅・冒険・紛争取材

期間 12月5日（水）～7日（金）

会場 コープこうべ生活文化センター 展示室

国際理解講座講師のジャーナリスト、大津司郎さんは、アフリカで撮った写真をもとに鉛筆画を描いてきました。一瞬一瞬の場面に繊細な鉛筆のタッチでよみがえり、私たちに熱く語りかけてくるようでした。

Column コラム 知ることからはじめよう

子どもの未来を考えよう！

What's SDGs?

私たちの未来を考えるときに、地球全体の幸せを目指し「持続可能な世界」を実現することはとても大切です。そのために、世界中のさまざまな立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までの実現を目指した具体的なガイドラインを作りました。それが2015年の国連総会で全会一致で採択された「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals、エスディーゼーズ）」です。

SDGsは17の目標からなり、各目標には細分化された指標があり達成期限が定められています。キーワードは「5つのP」。People（人間）、Prosperity（豊かさ）、Planet（地球）、Peace



（平和）、Partnership（パートナーシップ）。人間、豊かさ、地球、平和のための目標であり、国際社会のパートナーシップにより実現を目指しています。経済、社会、環境の3つの側面を調和させながら、「誰ひとり取り残さない」社会を目指して、開発途上国だけでなく先進国も含んだ世界中が一緒になって取り組む、地球の未来のための目標です。

持続可能な社会を実現するためには一人ひとりが起こす小さなアクションがとても大切です。節電、節水、マイバッグ、地産地消・・・できることはたくさんあるはず。身近なことからできることを始めましょう！！

ユニセフ募金 Donations For Unicef

■ 通常募金

通信欄記載事項	振替口座	手数料
K1-280 兵庫	00190-5-31000	免除

■ 緊急・復興募金

	通信欄記載事項	振替口座
ロヒンギャ難民	ロヒンギャ K1-280 兵庫	00190-5-31000
シリア	シリア K1-280 兵庫	00190-5-31000
アフリカ干ばつ	アフリカ K1-280 兵庫	00190-5-31000
自然災害	自然災害 K1-280 兵庫	00190-5-31000
人道危機	人道危機 K1-280 兵庫	00190-5-31000

*共通口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会
*手数料免除

募集中!

ユニセフ
ひょうご
サポーター

賛助会員として活動を
支えて下さる方を
募集しています。

ユニセフ
ボランティア

「できる人が できる
時に できることを」
一緒にしませんか。

Wish vol.57

ユニセフ兵庫ニュース Wish

2019年(平成31年)1月発行

発行：兵庫県ユニセフ協会

住所：〒658-0081

神戸市東灘区田中町 5-3-18

コープこうべ生活文化センター 4F

電話：078-435-1605 (平日 10:00 ~ 16:00)

FAX：078-451-9830

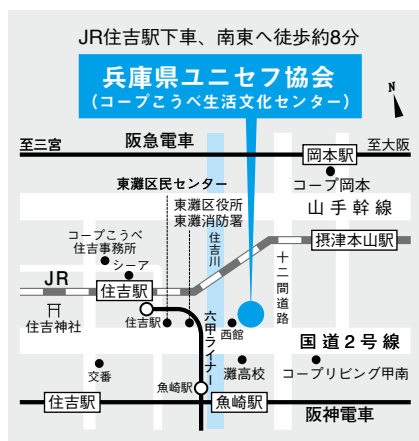
●最新の情報はホームページで

<http://www.office-bit.com/unicef-hyogo/>

兵庫 ユニセフ



●兵庫県ユニセフ協会への案内図



Join Us 主催イベント

どなたでもご参加いただけます。
詳細はHPをご覧ください。

参加費
無料

世界のともだちと心をつなごう

ユニセフの つどい VOICE 17

Unicef Festival

2019 **3/16** SAT

入場無料

場所 >> コープこうべ生活文化センター
時間 >> 10:00 ▶ 15:00 (開演 10:30)

主催 兵庫県ユニセフ協会 協賛 神戸YMCA、神戸YWCA
後援 兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、(公財)兵庫県国際交流協会、
JICA関西、兵庫県子ども発達協会、ユーブコア

年に一度、
ユニセフに集う日。

unicef

2019 国際理解講座①「国づくりは子どもたちの未来づくりから」

講師 シャラッド チャンドラ ライ (YouMe Nepal 代表)

日時 4月27日(土) 13:30 ~ 15:30

会場 未定

お申込み、お問い合わせ先 **事務局 078-435-1605**

News お知らせ

川崎塾⑦

講師 相原由美さん 歌人(広島文学資料保全の会・在韓被爆者支援)

日時 1月14日(月・祝) 13:30 ~ 15:30

会場 兵庫県民会館(神戸市中央区)

川崎塾⑧

講師 川崎哲さん ICAN 国際運営委員

日時 2月23日(土) 13:30 ~ 15:30

会場 神戸栄光教会(神戸市中央区)

Booth 出展参加

2月10日(日)	2019ユニセフカップ神戸バレンタイン・ラブラン
2月24日(日)	コープファミリーフェスタ(西宮)
3月10日(日)	神戸国際交流フェア2019
4月7日(日)	2019ユニセフカップ芦屋国際ファンラン

ユニセフ出前学習会

学習会の講師派遣を行っています。
お気軽にお問い合わせください。

事務局からのお知らせ

兵庫県ユニセフ協会「第17回理事会」「第9回評議会」を開催しました。

日時：2018年12月5日(水)

会場：コープこうべ生活文化センター

今回は役員等の選任に関する議案を了承いただきました。また、2018年度事業報告(案)、決算見込み、2019年度事業計画(案)、予算(案)について報告、みなさまから貴重なご意見をいただきました。

2019年度は、活動拠点のより一層の拡充に向けて、広報・啓発活動や、他団体とのネットワーク強化に努めます。